

下鴨神社だより

行事日程

- 4月29日 市民植樹祭 (午前9時～)
- 5月3日 流鏝馬神事 (午後1時～)
- 5月12日 御蔭祭 (午前9時～)
- 5月15日 賀茂祭／葵祭 (午前11時40分～)



- 6月13日 螢火の茶会 (午後5時～)
- 7月22日～26日 みたらし祭 (午前5時半～)



- 8月7日 矢取り神事(午後6時半～)
- 9月27日 名月管絃祭(午後6時半～)

事務局だより

会議報告

平成26年10月1日より平成27年3月31日まで

●関東本部役員会

月日：平成26年12月24日(水)
場所：丸の内ホテル(東京)会議室
出席：関東本部役員

報告事項…

- ①糺の森環境整備・景観保全と文化財修理事業に係る募金進捗の件
- ②その他

◆第11回理事会

月日：平成27年3月2日
場所：主たる事務所
出席：理事・監事

決議事項…

- ①平成26年度追加助成事業並びに助成金額変更の件
 - ②自平成26年4月1日至平成27年3月31日事業年度に係る補正予算書類の件
 - ③自平成27年4月1日至平成28年3月31日事業年度に係る事業計画及び収支予算書の件
 - ④資金調達及び設備投資の見込みの件
- 報告事項…
- ①自平成26年6月6日至平成27年3月1日の理事長および専務理事の職務執行の報告
 - ②会員数の報告

会員数報告(平成27年2月10日現在)

賛助会員	56件
団体・法人会員	42件
個人会員	1,181名
合計	1,279件

平成27年度会員証および特典パンフレット

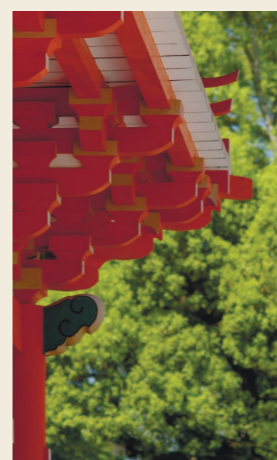
平成27年度の会員証は6月下旬にお届けいたします。平成26年度会員証は6月30日まで有効ですのでご利用いただけます。

新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産糺の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご誘致をよろしく願っています。ご連絡いただければ「入会案内パンフレット」をお届けいたします。

ご寄付のお願い

平成26年度も多くの皆様のご寄付をいただき、糺の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございます。平成27年度も引き続きましてご寄付をよろしく願っています。同封の振込用紙をご利用ください。



糺の森



糺の森ぶらりぶらり第10回

いのちのちから、あらたに

—森と社とところをつなぐ—

〔第34回式年遷宮奉祝記念シンポジウムから

糺の森NEWS／催事案内

表紙写真／井上隆雄

Vol. 11

糺の森財団会報
平成27年3月31日発行
通号59号

世界遺産下鴨神社
第34回式年遷宮記念号

編集・発行

公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

www.tadasunomori.or.jp

糺の森



題字

賀茂御祖神社

新木直人宮司

糺の森財団

顧問 村田 純一

(村田機械株式会社
代表取締役会長)



ユネスコの無形文化遺産には日本の多くの伝統技術や芸能が登録されておりますが、一昨年に和食文化、また昨年に和紙の手漉技術が登録されたことは記憶に新しく、誠に誇らしいことでした。

このように、日本の伝統文化を世界に発信することは、世界の人々のみならず、私たち日本人が自国の価値を再認識する契機にもなります。糺の森が広がる京都では平成十九年に「京都ブランド推進連絡協議会」が設立され、「京都」を形造る伝統産業、最先端技術、豊かな自然環境、また千二百年の歴史が築いた景観や街並みにさらに磨きをかけて、都市の魅力を向上させる活動を行っております。そして顕著な活動を行った個人や団体を表彰する、京都創造者大賞が設けられ、下鴨神社は、葵祭の伝統を継承し、王朝文化を現代に伝えていく点が評価され平成二十四年に大賞を受賞しております。

下鴨神社には他にも平安時代より続く伝統祭事があります。式年遷宮と呼ばれるこの祭事は、現代では国宝本殿をはじめ社殿の修造等を行うもので、二十一年に一度斎行されています。そして、文化財社殿の修理や糺の森の環境整備事業は、皆様のご協力のもと順調に進み、本年四月に三十四回目の式年遷宮を迎えることとなりました。

糺の森財団は、貴重な原生樹林糺の森の環境、景観の保全や、下鴨神社が伝承する祭事の保存活動を通じて、日本文化の発展と国民的財産を継承することを目的としております。糺の森が持つ輝きを絶やさぬ為には、皆様から磨き続けられることが必要です。式年遷宮が行われる節目の年にあたり、益々のご協力を衷心よりお願い申し上げます。

〔第34回式年遷宮奉祝記念シンポジウム〕

いのちのちから、

あらたに

森と社と

こころをつなぐ



糺の森
ぶらりぶらり
第十回

第三十四回式年遷宮を迎えるにあたり、奉祝記念のシンポジウムを平成二十六年十一月に下鴨神社研修道場にて開催いたしました。約四六〇名の参加者で会場も満員の盛況で終えることができました。当日の内容は、共催の読売新聞一月十日に掲載されましたので、一部抜粋の上転載しご紹介させていただきます。

基調講演

「式年遷宮について」

宗教学者 山折哲雄氏

伊勢神宮と下鴨神社で行われる式年遷宮は構造的に大きな違いがあり、その原点は記紀神話にさかのぼります。神話によると二つの領域における神々の活動が語られています。一つは高天原で活動された後、一時的に姿を隠す、死ぬことのない「天津神」、もう一つはお亡くなりになって地上の陵に葬られる「国津神」です。

伊勢神宮の主祭神である天照大神は国家の神であり皇室の祖神でもあります。永遠の神々の世界から地上に下られた国津神の神々をお祭りする神様でもあります。歴代の天皇は死によって新たな天皇が誕生し、死と再生を繰り返します。従って伊勢神宮

では国家のあり方を方向づける遷宮方式を取り、「死と再生の儀礼」になっています。

一方、下鴨神社の神々は本殿を改修・改築している期間は仮殿、いわば御旅所に一時的に滞在していたたく遷宮方式を取っており、天津神の神々の運命と深い関係があります。ここでは死の気配が消失され、天津神は「永遠性を担保された神々」であると考えられます。下鴨神社では神様が御旅所におられる間は国民が様々な芸能を披露し、神様に楽しんでいただくこうという奉仕精神が背景にあります。

つまり、伊勢神宮は国家を軸とした遷宮であるのに対して、下鴨



神社は国民を軸としています。国家から国民レベルまで様々な祭りのあり方を生み出してきた意味を考える時、私は改めて日本文化の奥深さを実感します。天皇の皇位継承に関わる儀礼と神祭りという宗教儀礼が背中合わせになっていることで、日本は世界に例を見ない平和な時代が長く続き、祭りと芸術と宗教の幸う国となりました。その背景に、遷宮という二つの方式を作り出してきた日本国民の深い知恵を感じるのです。今年から来年にかけての下鴨神社の遷宮を改めて見直すことで、千年、千五百年の歴史を考える時期に私たちは来ているのではないかと思います。

パネルディスカッション

「悠久のときをこえて。式年遷宮がつなぐもの」

パネリスト

山折哲雄氏 宗教学者／礼の森財団学術顧問

堀場 厚氏 堀場製作所会長兼社長／礼の森財団評議員

井浦 新氏 俳優／京都国立博物館文化大使

新木直人氏 賀茂御祖神社宮司／礼の森財団顧問

コーディネーター 毛利聡子氏 フリーアナウンサー

毛利 下鴨神社の歴史や文化、礼の森に代表される自然の価値とは何でしょうか？

新木 当神社は崇神天皇の七年に神社の瑞垣の修造が行われたという記録があり、創祀は西暦紀元をはるかにさかのぼるものと見られています。それだけに日本の歴史につながる名所が礼の森に数々あります。



新木直人氏

毛利 企業経営者の立場から見た京都の魅力とは？

堀場 京都という街は歴史的建造物から自然豊かで落ち着いたたたずまい、モノを作る企業、学校があることで多様な機能を兼ね備えています。加えて日本食のみならず世界各地の料理がおいしいことが、海外から高く評価されている。京都ブランドの形成に大きく影響していると思います。また、京都で創業した企業の多くは東京に本社を移転しません。その理由は、経営者同士の交流が盛んであり、最新の情報が京都にいなからにして入手できるからです。

毛利 下鴨神社の写真を撮影されていますが、活動を通じて感じる下鴨神社の魅力とは？

井浦 近年、京都は都市化が進んで木や土の匂いがなくなってきましたが、京都の街なかで唯一、その匂いを感じる事ができるのが礼の森です。人の手によって破壊され、また新たに作られたものが多い現代社会の中で、この森には古代から続く遺構が、今も守られています。古き良きものを守り、継承していくという日本本来の美意識と先人の知恵に触れ、その息吹を礼の森に感じた時、たまらない魅力を感じます。

新木 当神社の始まりの時代はまだ都可以在前のことですから、この界限は森と湖に包まれており、古代の神様のお住まいでした。それが今日に至るまで礼の森として保存されているということは京都の誇りではないでしょうか。

毛利 下鴨神社の歴史・自然・文化をどのように評価されますか？

山折 日本列島が森、平野や田畑、近代的な都市や工場群という三層構造で形成されているように、日本人の意識構造も森林社会の価値観・世界観をベースに稲作農耕社会の価値観、そして西洋文明を受け入れた近代的な価値観が重なっています。このような三層にわたる価値観・人間観・世界観があるからこそ、災害や危機への対応力が強く、資源が乏しい中においても先進国の地位を保つことができます。



山折哲雄氏



事の美しさの結晶であると感じました。古代の神々の存在感、自然に対する畏怖の念、先人の思いや気配を写真という形で今後も伝えていきたいです。



堀場 厚氏

たのではないかと考えます。その三層構造はまた、京都という街に見ることができません。森林があり、麓には里山、そして中心部には近代文化に彩られた都市が形成されています。この事実から気づくことは、最も深層で支えている森林社会が持っている重要な世界観が大きな役割を果たしており、それを象徴するのが糺の森だということです。

毛利 様々な魅力や価値をこれからのように継承していけばよいのでしょうか？

山折 まずは自然を大切にすることです。21年ごとに改修するという遷宮においては、修復する技術は進化しつつも御神宝など伝統的な姿は変えません。この「21年ごとに替える」という概念は人間社会においても通じます。人間や組

織は20年もたつと腐敗するため、再生しなければいけないということとを教えてくださいたいと思います。

堀場 当社は組織の活性化と生産性向上のために5年ごとに体制を見直していますが、大切なのは技術やマーケットは変えながらも、企業文化や価値観、人材は守り続けることです。また当社は現在、大津市に新工場を建設中です。いわば、技術の遷宮です。若い技術者が、創業から培ってきた匠の技術を、自らの手で新工場に移転することで、原理原則を改めて勉強する良いタイミングではないかと思っています。

毛利 私たちは式年遷宮を通して後世に何を残すべきでしょうか？

井浦 撮影を通して、すべての祭り・神事はそれらを支えている人々の心や修復する宮大工の手仕



井浦 新氏

山折 自然と建物は（能でいうところの）「シテ」と「ワキ」の関係であることを私たちはわきまえておくべきです。つまり、下鴨神社は「ワキ」であり、それを取り巻いている糺の森が「シテ」の役割を果たしています。21年ごとにつつましやかに遷宮を行うということは、日本文化の本質は森の中にある神の気配であり、神は姿を現さないということなのです。

新木 祭りは神社だけでできるものではありません。国民が寄り集まって感謝し、喜ぶ姿を表したのが本来の祭りの姿です。国民を中心とした下鴨神社の式年遷宮をはじめ、毎年の葵祭、みたらし祭もありますので、ぜひ皆様に参加していただきたいと願っています。



毛利聡子氏

(文中敬称略)

下鴨神社 第34回式年遷宮 記念書籍のお知らせ

世界文化遺産 「賀茂御祖神社」 下鴨神社のすべて

近日
発売!!

下鴨神社の神と祭り、
そして人々の信仰の歴史を探る。

歴史学者・上田正昭氏を筆頭に
考古学、歴史、環境、建築の各
研究者が解き明かす下鴨神社
論と下鴨神社の神官による信
仰の心とカタチ。森と社と神と
人との関わりを歴史を知る至
極の一冊。

発行 淡交社
定価 1944円(税込)

「聖地の入口」

—京都下鴨神社 式年遷宮の祈り—

絶賛
発売中!!

人は自然に宿り
自然は人に宿る。

宗教学者・山折哲雄氏が説く下鴨神社の式年遷宮。

マツリの原初の姿を追体験した

プロデューサー・川良浩和氏。

解剖学者・養老孟司氏は

森と人の抜き差しならぬ関係を語り、

長明への熱き想いを

スタジオジブリ社長・鈴木敏夫氏は綴る。

そして、文学者・中西進氏が

神と帝と都の歴史を解説。

読むほどに味わい深い、それぞれの

下鴨神社観がこの一冊に!

発行 主婦の友社
定価 1512円(税込)



糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内
糺の森保存会事務局
www.tadasunomori.or.jp

国宝 東本殿・西本殿保存修理

修理完了！美しい姿よみがえる！

平成25年6月の素屋根（本殿を覆う工事的な建物）の建設から、1年9ヶ月の工事期間を経て、国宝東西本殿の修理が無事に完了いたしました。

檜皮屋根の葺き替えをはじめ、木部や鍔金具の補修、階段と高欄の朱漆や土台となる亀腹の漆喰の塗り直しなど、細部に至るまで修繕がなされました。下鴨神社本殿の特徴である、朱漆塗りの階段と高欄が、本来のまばゆいまでの色彩を

取り戻し、御扉の左右には、同じく修理作業を終えた獅子（金色）と狛犬（銀色）が鎮座しております。

3月10日より、正遷宮に先立って行われる関連の祭事がはじまりました。殿内をしつらえる調度品や御神座も納められ、第34回式年遷宮のクライマックスである正遷宮の時がいよいよ近づいてまいりました。



国宝西本殿



国宝東本殿



東本殿
朱漆塗り階段

助成事業

糺の森財団は平成26年度に実施された文化財や糺の森の保全事業に助成いたします

- 国宝 東西本殿等保存修理工事
糺の森財団助成金額 37,000,000円
- 第2期糺の森整備工事
(神宮寺跡整備事業)
摂社河合神社北側にかつて存在した神宮寺と糺池跡の遺構を保存整備するための発掘調査を実施
糺の森財団助成金額 6,500,000円
- 境内環境保全事業
枯木等危険木の伐採や樹木養生工事等
糺の森財団助成金額 6,300,000円
- 重要社殿「勅使殿」整備工事
勅使殿の檜皮屋根葺き替え等整備工事(継続事業)
糺の森財団助成金額 8,700,000円
- 国宝本殿他神宝等保存修理事業
本殿内の御神宝や美術工芸品の保存修理事業(継続事業)
糺の森財団助成金額 30,500,000円
- 河合神社周辺整備工事
河合神社境内の排水設備補修工事
糺の森財団助成金額 120,000円
- 重要文化財「祝詞舎」周辺整備工事
祝詞舎屋根工事に係る庇設置工事等
糺の森財団助成金額 1,440,000円
- 御蔭神社境内保存整備事業
摂社御蔭神社境内の歴史、文化の保存と環境・景観の保全を目的とした測量や史料収集作業
糺の森財団助成金額 3,360,000円
- 国宝本殿周囲築地塀等修理工事
国宝本殿の東、北、西側に建つ築地塀の屋根や漆喰等の修理工事
糺の森財団助成金額 16,190,000円
- 旧鴨社公文所絵所預「浅田家」保存整備工事
現存する唯一の社家屋敷「浅田家」の保存のための修理工事
糺の森財団助成金額 16,140,000円
- 楼門内外漏電防止工事
国宝・重要文化財・重要社殿等の火災防止を図る、漏電防止電気設備工事
糺の森財団助成金額 13,500,000円
- 流鏝馬神事の保存と騎射育成事業
糺の森財団助成金額 500,000円
- 葵の庭整備工事
大炊殿葵の庭の剪定整備工事
糺の森財団助成金額 250,000円

多くの方に楽しんでいただきました

秋の糺の森コンサート

「音の森」開催

9月は「Ensemble au FRONT」、サックスカルテットによるポップスからクラシックまで楽しめたコンサート。10月はおなじみになった「ドレクスキップ」を迎え北欧の風コンサート。11月は秋のスペシャルとして、1部弦楽四重奏、2部バリトン歌手による「秋の歌」満載のコンサート。お客様も一体になって楽しく時間が過ぎていきました。春のコンサートも是非ご期待ください。



世界遺産糺の森文化講演会 開催

平成27年春講座

「都市の原風景」京都と自然のかかわり

平成27年3月22日に下鴨神社の研修道場において、京都大学名誉教授・花園大学教授の高橋康夫氏を講師にお迎えして開催いたしました。日本都市史・建築史が専門の高橋氏に、「1200年の歴史を有する京都の原風景はどのようなものであったか。また自然とのかかわりのなかで京都はどのように発展してきたか」をお話ししていただきました。



下鴨神社式年遷宮記念

一般昇殿参拝 4月29日から1週間

平成27年4月に下鴨神社は第34回式年遷宮の正遷宮を迎え、屋根の葺き替え等の修復を終えた国宝本殿に神様が遷りになられます。4月27日に御遷座の儀、翌28日には御奉幣の儀が執り行われます。そして29日から1週間、一般の皆さまに麗しく甍つたご本殿にお参りいただく、一般昇殿参拝を実施いたします。21年ごとの式年遷宮、この機会に是非下鴨神社にお越しいただき、ご参拝ください。

詳細は下鴨神社のホームページをご覧ください。
www.shimogamo-jinja.or.jp

第25回 蛍火の茶会

明治の納涼茶席を再開した「蛍火の茶会」。
裏千家によるお茶席と境内に舞う蛍をお楽しみください。



日時 6月13日(土) 午後5時～9時

場所 下鴨神社楼門内

参加方法
■お茶席
財団会員および招待者のみ参加。会員の方は事前申込(5月中旬案内)。当日財団入会者も参加可。
■蛍鑑賞(境内および森)
自由。7時頃に森散策路に放流。



同時開催

「糺の森納涼市」

京菓子・京漬物・お酒など有名老舗約20店が出店します。お買物をお楽しみください。

時間 午後1時～9時 **場所** 楼門前



“春の”糺の森コンサート「音の森」

自然の中で楽しめるコンサートです。
春の一日、気持ちのいい森の中でお楽しみください。
※4月25日は和太鼓パフォーマンス「蓮風」の演奏です。

月日 4月25日(土)、5月23日(土)
6月20日(土)

時間 午後2時～3時(予定)

場所 河合神社(糺の森南側)

参加 無料(自由)



第25回 糺の森市民植樹祭

日時 4月29日(水・祝)
午前10時～12時

場所 糺の森馬場特設会場

古代山代の原生林の植生を伝える学術的、文化的に貴重な自然林で、世界遺産の「糺の森」を守るため、毎年「市民植樹祭」を実施しています。苗木植樹・成木献木に是非ご参加ご協力ください。



苗木植樹

ムク・エノキ・カツラなどの苗木を植樹していただきます。子どもも大人もどなたでも参加OK。森の育成にご協力ください。

参加費 1,000円(1名)※スコップ・花鉢付き

申込 当日9時から会場受付にて

成木献木

子どもや孫の誕生、結婚周年など記念に成木を植樹して、森に思い出を残してください。お問合わせ、お申込みは事務局まで。

献木代 150,000円(1本)

事務局 下鴨神社内
☎075-781-0010

申込 4月15日までお願いします。

世界遺産 京都下鴨神社展

下鴨神社が所蔵する門外不出の社宝などを展示する特別展覧会。普段ご覧いただくことのできない品々が展示されます。

日時 東京 9月29日(火)～10月2日(金)
東京交通会館

名古屋 日程未定 名鉄百貨店本館



世界遺産 糺の森文化講演会 平成27年夏講座

現在内容については検討中です。決定次第、ホームページやチラシ等でご案内いたします。もう少しお待ちください。

日時 8月中旬 **場所** 下鴨神社 **参加** 無料